

第2回次期総合振興計画（区の将来像）に係る桜区検討懇話会 議事要旨

開催日時：2019年1月17日（木）10：00～11：40

開催会場：さいたま市桜区役所3階第1会議室

出席者（懇話会委員）：17名

| | |
|-----------------------------|---------------|
| 桜区自治会連合会 会長 | 茂木 武久 氏（座長） |
| 桜区自治会連合会 副会長 | 梅澤 圭司 氏（職務代理） |
| 桜区自治会連合会 副会長 | 田村 良明 氏 |
| 桜区区民会議 副会長 | 長沢 正子 氏 |
| 大久保地区民生委員・児童委員協議会 会長 | 天野 政則 氏 |
| 土合地区民生委員・児童委員協議会 会長 | 渡邊 忠夫 氏 |
| 土合地区社会福祉協議会 会長 | 小川 宅次 氏 |
| 大久保地区社会福祉協議会 会長 | 薮島 康之 氏 |
| 田島地区社会福祉協議会 会長 | 小峰 紀男 氏 |
| さいたま市交通指導員連絡会桜支部 桜支部長 | 門脇 ふじ代 氏 |
| さいたま市交通安全保護者の会（母の会）桜支部 桜支部長 | 原 綾 氏 |
| さいたま市PTA協議会桜区連合会 会長 | 今川 夏如 氏 |
| 青少年育成さいたま市民会議桜区連絡会 代表 | 向山 幸雄 氏 |
| さいたま商工会議所 | 厚川 俊子 氏 |
| 大久保地区まちづくりの会 会長 | 薮島 明 氏 |
| 西浦和駅周辺の街を住みよくする会 会長 | 押切 勇 氏 |
| 国立大学法人埼玉大学 副学長 | 井口 壽乃 氏 |

（事務局：さいたま市）：9名

桜区役所：木島区長／立石副区長／鳥海区民生活部長／益岡健康福祉部長／今井総務課長
／増田係長／桑原主査

都市経営戦略部：田中副参事 篠葉参与

欠席者（懇話会委員）：桜区自治会連合会 副会長 川上 強 氏

田島地区民生委員・児童委員協議会 会長 山田 笑美子 氏

議題及び公開又は非公開：（議題）「桜区の将来像」の見直しについて

（公開又は非公開の別）公開

傍聴者の数：0人

審議した内容：議題と同じ

問合せ先：桜区役所 区民生活部 総務課 電話番号 048-856-6123

1 開会

2 意見交換

前回の意見を踏まえ作成した資料、「桜区の将来像たたき台（案）」について、修正した方が良い点など、各委員が次のとおり意見及び感想を述べた。

・ボランティア団体も色々あり、自治会もボランティア団体の1つである。他団体の名称はなく自治会の文言だけ明示されているのはいかがか。

市

・自治会の存在は、各区の取組への影響が大きいことは否定できない。また、ボランティアなどの「など」には、団体や個人で活動する人も含めている。意見としてお受けしたい。

・まちづくりのポイント4について、(1)に「地域活動の推進」とあるが、「地域活動」とは(2)～(5)の内容を指すと考えられる。(1)は削除して(2)～(5)に含ませてはいかがか。また、自治会、ボランティアという名称は出さない方が良いのでは。

・まちづくりのポイント2については良いと思う。まちづくりのポイント3は、特に桜区は荒川の水害が注目されているなか、実際に避難場所に子どもや高齢者、障害者をどう避難させるかが課題。また、水害時の避難場所は行政の方で決めていただいたが、非常に非現実的で、実際にそのような場所に逃げられないといった意見もある。もっと現実的な指示をしていただく必要がある。

・区民会議では子育て支援、高齢者介護、区の魅力づくり、区の地域資源について話し合いをしてきた。高齢者支援にはシニアサポートセンターがあるが、区民会議でも知らない人が多かった。利用方法など、わかりやすいチラシなどにより地域の老人会などで周知してもらいたい。

・桜区は高齢者が非常に多くなっている。まちづくりのポイント2について、高齢者が集まれる場所がない。大久保地区に隣接するクリーンセンター跡地に福祉センターのようなものを造ってほしい。その管理運営も高齢者の方が良いのでは。埼大生の方々の知恵も借りたい。高齢者のお宅を訪問すると、一日中テレビを見ている。外に出てもらうためにも高齢者が集まれる場所が必要。

・スローガンの「三世代」がなくなってしまうのは寂しい。「三世代」はとても良い言葉だと思う。継続してよかった。

・高齢者が活動する場所、費用がかからなくて広いところを探すのは大変。障害者施設の駐車場が足りない。障害者に車は必須。十分なスペースを確保してほしい。

・まちづくりのポイント 2 の高齢者が、各項目では省略され、(3)において一まとめになっており、重要度が落ちてしまっている印象。「高齢者」ともっと明確に表示しないと次のステップにいかず議論にも進まない。(4)として「高齢者」に関する項目を入れないと、今後具体化しない。

・自治会館や集会所があるところはよいが、高齢者がふれあえる場所が少ない。今後も自治会活動では社協と協力して高齢者福祉のために活動をしていきたい。

・道路交通の問題など、どの項目でも高齢者が関わってくる。まちづくりのポイント 2 でもっと高齢者の表記があるとふくらみが出ると思う。「協働」とまちづくりのポイント 4 (1)の「協力」の違いがわからない。

・「地域の人々」という文言は、遠い存在の印象で当事者意識が感じられない。「区民一人一人が」については「桜区民が」とするなど、自分が担う一員であること、当事者性のある文言が良い。埼大生などに桜区に住み続けたいと思ってもらうことが大事。例えば、大きな道路ができると便利だが、そこで暮らしている人は生活が分断されてしまうのではないか。学校などでは当事者意識をもつことを学んでほしい。

・学区や避難所など、行政の区割りの見直しが必要。道や場所もわかりづらい。地域の人にとっても使いやすい看板、標識などのPRが必要。

・まちづくりのポイント 1 (4)「駅へのアクセス」は良いと思う。市役所から桜区役所への新しい道路の沿道に住宅や商店ができ始めている。このように交通のアクセスが良くなれば産業発展につながる。反対も多かった桜環境センターは、利用者も多く様々な活動をしている。高齢者が利用するのにも良いのでは。市からもっと宣伝してみてもは。

・桜環境センターの良さが地域に浸透していないように思う。場所としても広く、ここを中心にいろいろな活動ができるのでは。

・現在 10 区の中で住んでみたい街では下位だが、将来に向けた住みよいまちづくりは良いと思う。埼大は伝統があるわけではない。表記を変えたほうが良い。区民が提案する将来像のはずが、行政的になっている。例えば、まちづくりのポイント 1 (2)の意味がわからない。言葉の整理が必要。前回、インフラ整備に併せて交通整備をと発言したが、区民に理解して

もらうにはもっと具体的な表記が必要。それと桜区は医療機関が充実していない。2か3に入れてほしい。10年先を見越してもっと大風呂敷をひいても良いのでは。

・明るいまちづくりは、地域に溶け込んだ活動といった時代からぬけだして、今は地方創生の時代。地域だけでなく、社協を活用しながらもっと大きな視野が必要。

・10年先の桜区の将来像を見据える目標を掲げないといけないのに、あまり変わってない印象。4つの骨子そのまま継承されて良いと思う。「三世代」が残って良いという意見もあるが、昔の家族層のイメージ。戦後日本は核家族化が進み、全国で約30%の人が一人暮らしである。これは10年後も変わることはない。それならば文言を変えればよい。「世代を超えて」「元気なまち桜区」はいかがか。「人生100年時代」などダイナミズムを感じるような文言を一番上に掲げても良いのでは。

・問題の解決方法として良いのは企業誘致だが、桜区は調整区域が多く難しい。また企業を次代に引き継ぐ者がいないというが、産業が活性化されれば、財政豊かになり街全体が良くなり早く解決する。埼玉の知恵を借り産学連携につなげれば、もっとこの街は良い方向へ進んでいくと思う。

・高齢者の独居の問題は今後も増えていく。社協でもどうやって見守っていくかが課題となっている。今後も緩やかに人口は増えていく。案では高齢者の件がぼやけてしまっている。福祉会館を造るという目標も良いのでは。

・桜環境センターは、カラオケ・ダンス・ジムもあり、ふれあいの場所に適していることから、もっとPRした方が良い。自治会館だけでなく、サロン活動が簡単にできる場所を提供してあげることが大事。

・10区で懇話会を行い、各区が意見をまとめ、市が提案を受けて方向性を出すのだろうが、全てを事業化するには大変予算がかかることだと思う。市はどのように考えているのか。

市

・懇話会で意見を伺ったことを受け、今後本庁各局と施策の調整をしたい。全て実現できるかわからないが、方向性を決めて展開していく。

・委員は忙しいなか時間を割いて会議に出席し意見している。ただ夢を語っただけでなく、市はある程度目標を達成しないとイケない。

・委員は責任ある立場で発言しているので、意見は意見で終わらせず、実行してもらうことを期待する。大久保地区で言えば自然豊かで良いが、その反面交通の便が悪い。道路整備などどのように改善していくのか。例えば自転車専用レーンを造る場合、幅員は現状のまま、土地も家もそのまま何かしようとすればどこかに皺寄せがくる。何かやるときはそれに対応する施策がもう1つ必要。地域開発を行政主導でお願いしたい。

・子どもの健全育成に向けて、緑があっても公園があっても、子どもが遊んでいるだけで警察を呼ばれることがある。そのようなところでは子育てはできない。子供たちがルールにのって遊べる公園があれば良い。公園も広場さえあれば遊具はいらない。また広場があれば防災にも役立つ。

・具体的な表現が必要。これは10年かけてやっていく、という具体的な内容が1つでも2つでも盛り込めればと思う。

・西浦和駅について、もう少し活性化が進む方に行けばよいと思う。駅前ロータリーができれば使い勝手が良くなると思う。

・桜区には西浦和駅があるが区民は南区の中浦和駅を多く利用する。地元自治会で検討委員会を立ち上げ、住民アンケートを実施している。何十年かかるかわからないが、桜区の玄関として便利になるよう、関係機関に要望している

・2回にわたる懇話会で貴重な意見を伺った。これらの意見を踏まえ、今後は桜区の将来像草案作成に反映してほしい。

3 閉会